



シャクナゲ日記

HPもご覧ください→



文責 校長 西山 友一郎

2学期もどうぞよろしくお願ひします!!

8月28日（金）から、2学期が始まりました。今年の夏休みは夏休みに入って10日後に熊本地震が発生し、一瞬にして日常が奪われ、その地震からの復興復旧に向けて邁進してきた夏休みでした。八代市内でも地震の爪痕が今なお残っており、避難所等で過ごされている方々も今なおおられる状況です。本校は、大きな揺れはあったものの、ほぼ大きな影響もなく予定通り2学期をスタートすることができました。始業式では、5年生児童の2学期頑張りたいことの発表において、間近に迫った運動会を頑張ることや学習では算数に力を入れて取り組むことを自分の言葉で発表しました。そして、校長先生からの話では、

「7月28日午後4時27分に大きな地震がありました。揺れは15秒ほどの揺れでしたが、マグニチュード7.1というとても大きな地震でした。今日で地震からちょうど一ヶ月たちました。今もまだ、2943人の方が、避難所で不自由な生活をしています。今回の地震は、10数秒の揺れで、いっぺんに当たり前に過ごしていた日常がなくなってしまいました。当たり前に過ごしていたこと、蛇口をひねると水が出る、電気のスイッチを入れたら電気が点く、トイレに行きたいときにいくことができる、お風呂やシャワーに毎日入ることができる、いきたいところに車で自由に行くことができるなど、当たり前にできていたことができなくなることの恐ろしさを今も身にしみて感じています。この地震を経験して、これから先、いつ何が起こるか本当に誰にもわからない。予測不能の時代を私たちは生きているのだということを実感しました。だからこそ、これから一日、一日を大切に後悔のないように過ごしていきたいと強く思いました。最後に、ある詩を紹介して校長先生の話の終わりたいと思います。東井義雄さんという教育学者の「心のスイッチ」という詩です。」

このあと、私たちはたくさんの可能性を持って生まれてきていること、自分の責任者は自分自身であること、だからこそ心のスイッチを自ら入れて自分を成長させていくこと、そのためには、できないことを周りのせいにしないことが大切だということ、そして心のスイッチは自分で入れる必要があることを伝えて話を終えました。

困難に直面しても、その困難から立ち上がり、その過程を自分自身の成長の糧として生かしながら、更なる発展を目指していく「生きる力」を今後も育てていきたいと思ひます。

2学期もどうぞよろしくお願ひいたします。



いずみ学園乗入れ授業がありました!!

9月15日（火）に泉中学校から校長先生と家庭科の先生が来校され、本校で家庭科の授業をしていただきました。普段は、担任の先生と二人だけの授業ですが、今回は、専門の先生から家庭科の授業をしていただきました。授業は、裁縫の授業です。小学生にもわかりやすく丁寧に説明していただきましたので、とてもスムーズに進めることが

できました。はじめは緊張気味でしたが、作業が進むにつれて、集中して取り組んでいました。そして、見事な小物入れを仕上げることができました。

